

# 海洋生物資源学部の学習・教育目標

海洋生物資源学部は、『海洋生物が再生産される環境の保全、海洋生物資源の育成ならびに有効利用などに関する専門知識を基礎として、地域的および国際的な視野に立って、海洋生物資源の持続的利用に関連する科学および技術的課題の解決に貢献する人材』を養成することをめざしている。このような理念を実現するために必要とされる具体的な能力は、以下に示すとおりである。

## A 幅広い視野と 社会的役割の自覚

多面的思考能力、倫理的責任

## B 自然科学を基盤とした 海洋生物資源学の 基礎知識とその応用能力

## C 問題解決のための デザイン能力

情報処理、コミュニケーション、  
グループワーク、プレゼンテーション

- A** 海洋生物資源に関わる技術者として、幅広い視野を持ち、同時に自らの社会的役割を理解して行動する能力を身につける。
- (A-1) 国際的および日本海をとりまく地域的視点から、歴史や文化あるいは経済や社会の課題を多面的に考える。
  - (A-2) 科学・技術が社会や自然に及ぼす影響・効果および倫理的責任を理解して行動する。
- B** 海洋生物資源に関わる知識を習得するとともに、それらを応用する能力を身につける。
- (B-1) 海洋生物資源学の基礎となる数学および自然科学を幅広く学び、論理的に思考する。
  - (B-2) 海洋環境の保全や海洋生物資源の育成と利用に関わる基礎および専門知識を身につける。
  - (B-3) 習得した知識を海洋生物資源の持続的利用に関する問題の解決に応用する。
  - (B-4) 絶えず発展する海洋生物資源に関わる科学・技術について、社会の要求と関連付けながら継続的に学習する。
- C** 海洋生物資源の持続的利用に関する課題を解決するために、計画を作成して実践し、その成果を取りまとめて検証する能力および他者と協働する能力を身につける。
- (C-1) さまざまな手段を用いて必要な情報を収集し、得られた情報を解析する。
  - (C-2) 習得した知識と技術に基づき、与えられた条件のもとで問題を解決するために、計画を立案して実践し、その成果をまとめる。
  - (C-3) 自らの考えを論理的に記述し、口頭で発表するとともに、積極的に議論する。
  - (C-4) 海洋生物資源に関する国際的課題について、外国語で議論するために必要な基礎的語学力を身につける。
  - (C-5) 他者と協働して海洋生物資源に関わる問題を解決するために、自己のなすべき行動と他者のとるべき行動を的確に判断し、相互に意思疎通を図りながら行動する。

海洋生物資源学部の教育プログラムは、これらの学習・教育目標に基づいて  
JABEE（日本技術者教育認定機構）による認定を受けています。